

京都大学防災研究所 研究集会 (20K09)
 [火山噴火機構の解明とモデル化－高度な噴火予知を目指して－]
 研究代表者 西村太志 (東北大) 所内担当 井口正人

9月11日

13:30	西村太志	はじめに
13:40	中道治久・木股文昭・山崎文人 (名大・環境学)・熊谷博之・ 中野優 (防災科研)・大久保慎 人 (東濃地震科研)	2007年御嶽山の微噴火にいたるまでの地震活動
14:00	Hetty TRIASTUTY, Masato IGUCHI and Takeshi TAMEGURI (Kyoto Univ)	Temporal change of characteristics of high- frequency earthquakes associated with increase in volcanic activity at Kuchinoerabujima volcano, Japan
14:20	中村美千彦・佐藤典子・吉瀬 毅 (東北大・地惑)・安井真也 (日大・文理)	間欠的な爆発的噴火の火道内プロセス: 噴出物の 岩石学的解析から
14:40	森 健彦 (産総研)・及川光弘 (海上保安庁) 平林順一 (東工 大)・井口正人・為栗 健 (京 大防災研)	諏訪之瀬島の噴火に関連した二酸化硫黄放出率の 短時間変動について
15:00	嶋野岳人 (富士常葉大学)・井 口正人 (京大防災研)	噴火現象の変動メカニズム解明のための物質科学 的アプローチ
	休憩 (10分)	
15:30	立尾有騎・井口正人 (京大・防 災研)	桜島南岳におけるB型地震群発および火山性微動 発生に先行する地盤変動について
15:50	大湊隆雄 (東大 地震研)	噴火時に観測される長周期地震波形の多様性
16:10	八木原 寛・萩原慎太郎 (鹿児 島大・理)・為栗 健・井口正 人 (京大防災研)	諏訪之瀬島火山の2006 年2 月の爆発的噴火で観 測された傾斜変化
16:30	井口正人・横尾亮彦・為栗 健 (京大・防災研)	火山爆発に伴う膨張過程について
16:50	後藤章夫 (東北大・東北アジ ア), Maurizio Ripepe, Giorgio Lacanna (フィレン ツェ大)	ストロンボリ火山での空振と映像の同時観測

17:10	横尾亮彦・為栗 健・井口正人 (京大・防災研)	桜島山頂噴火における火口底破壊過程
17:30	太田雄策, 植木貞人, 三浦哲, 佐藤忠弘 (東北大・予知セ)	キネマティックGPS による火山体監視の可能性と 問題点
19:00	懇親会	
9月12日		
9:00	篠原宏志 (産総研)	火道内マグマ対流と火山爆発
9:20	西村太志 (東北大・地物)	繰り返し噴火に先行する山体膨脹
9:40	三輪学央・寅丸敦志(九大・地 惑)	マグマプラグ内流体の量と状態：桜島ブルカノ式 噴火前の増圧における重要性
10:00	市原美恵 (東大・地震研) ・ Maurizio Ripepe (フィレン ツェ大) ・後藤章夫・谷口宏充 (東北大・東北アジア) ・大島 弘光 (北大・理)	埋設発破に伴う表面現象の相似則と媒質依存性ー 火山爆発に伴う空振と噴煙の解読に向けてー
10:20	亀田 正治・島貫 延・栗原 秀 哲 (東京農工大・機械システム 工学) ・市原 美恵 (東大・地 震研)	急減圧にともなう発泡マグマ破碎過程の解明
	休憩 (20分)	
11:00	綿田辰吾 (東大・地震研)	微気圧データから見るカルデラ形成過程 (その 1) ー地表変形により発生する大気圧変化の基礎 理論ー
11:20	吉村俊平 中村美千彦 (東北 大・地惑)	多成分系における気泡と非平衡流体の化学的相互 作用

11:40	橋本武志 (北大・理)	火道内過程による電磁場変動
	昼食 (60分)	
13:00	小園誠史 (東大・地震研)	一次元定常火道流の解析的研究: 火山観測データとの比較
13:20	鈴木雄治郎 (海洋研究開発機構)	数値モデルによる火山噴煙シミュレーションの現状
13:40	藤田英輔 (防災科研)	粒子法によるマグマ貫入シミュレーション
14:00	寅丸敦志 (九大・地惑)	マグマの発泡と火山性微動
14:20-15:00	総合討論	